



やり切る!!

「よい」と言いながらも、「いや、まだ!もう少し!」と

2日(水)に予行練習が行われました。どの学年も仕上がってきました。声も出てきました。よかったことを1年生の発表から順にコメントをしました。そして、最後の6年生にも、「歌もよかった。」と伝えました。そして付け加えて、「でも、同時に、『もう少しできそうだな』とか『もう少しできたんだよな』と思いませんか。」と話しました。そして、全校の子ども達にも「6年生だけでなく、みなさんも思いませんか。『あと少し磨けばもっとよくなる。』うまくいったからこそ思いませんか。」と問いかけました。

「では、どこを磨くのでしょうか。声の大きさですか?動きですか?“動き”ならどこの動きでしょうか?そこを見つけて、磨いていくことが『やり切る』ことです。そうやってみんなががんばることを『団結』というのです。そして、みんなのがんばりがつながり、たとえ、間違えてしまった人がいてもうまくカバーしてつなげて、1年生から6年生の発表まで終わったとき、この学習発表会全体は、大きな大きな物語のようなものができあがることになるでしょう。

そうやってやり切ったとき、どんな気持ちができるのでしょうか。楽しみです。スローガンは、「団結し やり切る心 最後まで」です。あと少し、もう一歩。最後までやり切りましょう。

聴く子ども達

～「ざわつかないでいること」を求める理由～

子ども達はうんうんと聴いています。1年生も目を開いてうんうんと聴いています。朝からの発表で12時を過ぎています。小さい学年は飽きてきても仕方がない時間ですが、それでも、人が前に立つと聴いてくれました。それだけ、学年の発表(特にさっき終わったばかりの高学年の発表)がよかったのでしょうか。よいものに触れると、こうして気持ちも穏やかに落ち着いて人の話を聴くことにもつながるのだなあと感じました。「次にはまた何かよいものに触れられるかも」と、何かに触れようとする“心の準備”ができているかのようです。

実は、最近、全校朝会や児童朝会で、「以前よりざわつくようになったのではないか」と指摘されていました。体育館に入ってくるときにざわついていたり、入ってきてからもざわざわしていたり。誰かが前に立って話し始めると静かになるのですが、それでもちょっと残念な気がしていました。

子ども達には、「何が始まるのかな」と耳を澄まして注意深く周りに目を向けているような集団になってほしいと思っています。誰かが歩いてきたら、「何か始まりそうぞ。」と目で追うような。体育館への出入りがざわついていっているということは、単にうるさいとか行儀とかの話ではありません。ざわつかないでいるということは、周りに注意を払い、「聴く構え」ができているということなのです。ですから、「静かにしなさいと命じられて静かにできる」のでは物足りません。「ざわついていても切りかえればよい」ともレベルが違います。誰かが話し始める・何かが始まるのを“待つ”という構えができているからです。

きっと、聴く構えができている子なら、誰かが何か言いたそうにしたらすぐに気がついてあげられる子なのでしょう。また、言い終わってもまだ何か言い足りないようなそんな心の動きにまで気がついてあげられる子なのでしょう。周りのことに気づく準備ができている子です。

そのような子を育てたいと思っています。ですから、今回、本当に“聴こうという気持ちで待つ”いて聴いてくれていたのがとてもうれしかったのです。

あなた達が見届けるのです！

予行練習が終わって、1年生から4年生までが教室に戻っていきます。残った5・6年生に、つけたして話をしました。

さっきの、みなさんの発表を、1・2年生が身を乗り出して見ていました。それだけ、発表がよかったのでしょうか。さっき全校のみなさんに、「最後まで磨いてやり切りましょう。」と話しましたから、きっと、本番には、どの学年も、より磨きをかけて仕上げてくるはずです。みなさんの演技もです。そして、たとえば、悲しい場面なら、1年生だって涙を流して見てくれることなのでしょう。そんな、磨きがかかった発表を、是非、みんなで見たいです。

でも、一方で、そんな発表だから、たくさんのおうちの方にも見ていただきたいです。ですから、子ども達全員が体育館に入って見ることはできません。そこで、6年生は、係としてはじめから会場にいますから、5年生だけでも、後半から会場で見せたいと思います。

ラストを飾る6年生がどんな演技をし、どうやって締めくくるのか、今日よりどれだけ仕上げてくるのか、最後までやり切ってどんなことを思うのか。今まで先頭に立って学校を引っ張ってきた6年生の事を見届けてほしい。そして、すべてが終わったときにどんな気持ちがするのか、6年生と一緒に味わってほしい。1年生から5年生の代表として、そして、来年、6年生になる人達として。5年生さん、あなた達が6年生と学習発表会の終わりを見届けるのです。

6年生もじっと聴いてくれていました。

今年も体育館へは “くじ引き”でご案内します が・・・

お便りでもお伝えしましたが、**学年ごとに観覧席を入れ替え**、ご自分のおうちの子の学年のみ観覧いただきます。今回は、特別教室でオンライン中継を行いますので、見たあとに続けて校舎内に残っておうちの子以外の学年の発表もご覧になることができます（入れる人数に限りがありますことをあらかじめご了解ください）。そこで、「くじ引き」は、

○学校にきたときに**体育館玄関**でまとめて**全部**引いていただきます。

- ・各家庭1回（代表のどなたか）くじを引いていただきます。
- ・朝から玄関に全学年分のくじを用意します。兄弟3人いれば3人分を一度に引いていただきます。

※くじは、早く引いたからよいか、遅く引いたから不利ということは、数学的にはないそうです。

○引いたくじは、特別教室で中継をご覧になるなり、いったんおうちへ帰るなりされても、なくさないようにお持ちください。

○発表が終わるたびに

①次の学年にお子さんがない場合は、

- ・特別教室で中継をご覧いただくことが可能です。
- ・次の次の学年にお子さんがある場合は、待っている間はかがやきホールでお待ちいただけます。

②すぐ次の学年にお子さんがある場合もいったん体育館から出て、再度かがやきホールで待ってから放送の案内で体育館に入ってください。

※かがやきホールでも中継を行っています。

※前の学年の発表が終わった後、かがやきホール内に放送を流してご案内します。

※くじには、「**A B C D**」などの記号が書いてありますので、「**Aのくじを引いたおうちの方、入場してお好きな席どうぞ。**」しばらくして「**次に、Bのくじを引いたおうちの方どうぞ。**」というように案内いたします。

<椅子の消毒にご協力ください>

昨年と同じく、パイプ椅子の消毒のご協力をお願いします。

※中継を行う特別教室にも消毒の準備をしますのでご協力をお願いします。

寒くないように準備しておいでください。

少しでもたくさんの方に見ていただこうと、毎年、工夫（試行錯誤）を試みていますが、期待したほどの効果がないこともあるかもしれません。後ほど、ご意見をいただければと思います。よろしくお願いいたします。